

大阪府議会議員

そうま

うらべ走馬 ニュース NEWS

大阪北部地震並びに台風21号におきましてお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

平成30年度大阪府議会 9月議会が 9月26日開会！！

都市住宅常任委員会での以下の質問・要望を行いましたので、要点をまとめご報告いたします。

茨木市内の道路交通対策について

茨木箕面丘陵線

Q. 彩都地区のまちの骨格となり、周辺道路に対する負担軽減となる茨木箕面丘陵線の早期完成に向けて取り組みを！

A. 東部地区の先行2地区が順調に進んでおり、東部地区の街づくりに合わせて遅れが生じないように整備してまいります。現在、中部地区と東部地区を結ぶ区間については橋梁の予備設計を実施するとともに、事業着手に向け大阪府建設事業評価審議会に諮っております。

新名神高速道路

Q. 新名神高速道路茨木千提寺インターチェンジへの案内標識の充実と照明灯の充実を！

A. 現在事業中の都市計画道路大岩線や府道余野茨木線の整備に合わせて地域住民や利用者の意見を踏まえ、仮設の照明など必要に応じて対策してまいります。

西河原西交差点

Q. 1日でも早い西河原西交差点の立体交差化実現を！

A. 現在、橋梁上部工事を実施する際に支障となる電線の移設工事に着手しており、下部工事に概ね3年、上部工事に概ね1年の期間を要し、2022年度末の供用を予定していますが、1日でも早く供用を実現できるように事業を推進してまいります。

奈良交差点

Q. 地元だけでなく、大阪府の交通のボトルネックとなる奈良交差点の渋滞に対して抜本的対策を！

A. 平成26年度に左折レーンの設置や右折レーンの延長などの対策を講じ、一定の効果が見受けられたが、さらなる対策について関係機関との連携のもと検討を行ってまいります。



河川の対策について

Q. 河川の体積土砂に関して府民の皆様から多くの不安の声が寄せられている。この体積土砂に関して積極的な除去を！また、河川内の樹木や草に関しても適切に除去を！

A. 現在、重点的に対策すべき箇所を定め、順に対策を実施しております。また、撤去した土砂を低下した箇所に埋め戻すなど、工夫を行い川底の深掘れによる護岸の崩壊防止をはかるとともに、費用削減を行い対策量の拡大を行っております。今後、よりきめ細やかな対策に取り組んでまいります。



自然護岸に関する要望

ブロック積護岸などが設置されていない自然護岸の区間において河川が侵食しその上部で農業などを営んでいる方々が危険な状況にあります。こうした自然護岸の区間も適切に維持管理を行い、河川管理者としてしっかりと対応をしていただくように要望。

安威川ダムに関する要望

安威川ダムの周辺整備に関して、茨木市と連携を取りながら、本体工事完成後に戻り工事などが生じないように茨木市に対して積極的に協力をして行くことを要望。

大阪北部地震に関する要望

大阪北部地震において生じた道路舗装のクラックなど、軽微な被災箇所に関しても今議会の補正予算を使って早急な対応を行ってもらうように要望。被災した住宅の中に含まれる多くの空き家が長期において放置されると特定空き家に発展してしまい、街の魅力の低下や近隣住民に危険が伴うことから、このまま放置されないように所有者の経済的負担の軽減を行うなど、市町村の支援を行い早期の対応を要望。

鳥飼仁和寺大橋有料道路周辺整備に関して

Q. 鳥飼仁和寺大橋は、本来であれば平成29年2月に無料解放される予定でありましたが、平成28年9月議会の審議を経て周辺地域の道路ネットワークを早期に整備することなどを附して料金徴収期間を2026年度までとしたところ。このことから、無料解放となる2026年度までに周辺道路整備を完了することが求められておりますが現在の取り組み状況は？

A. 現在、寝屋川大東線に関しては、密集市街地対策として事業に着手をしており、早期の整備に努めております。また、府道木屋門真線に重なって都市計画決定されている千里丘寝屋川線に関しては、寝屋川大東線と一体で整備を進める必要があると考え、今後事業着手に向けて検討を進めてまいります。

自転車空間の整備について

Q. 府内の自転車通行空間の整備が進んでいますが、市町村間の繋がりが乏しく、長距離移動が困難状況であるが、今後市町村間を跨ぐ自転車通行空間の整備が必要ではないか？

A. 現在、安全確保の観点から優先的に整備を進めているが、今後、市町村のネットワーク計画を踏まえ、府管理道路の10カ年整備計画に位置づけてまいります。

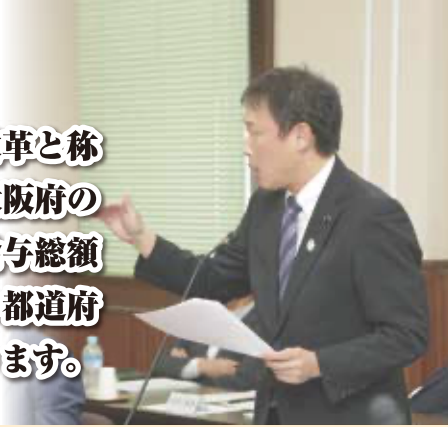
府営住宅について

Q. 府営住宅において外国人が増えているが、災害時や日常のコミュニケーションが円滑に取れるように対策を講じているのか？

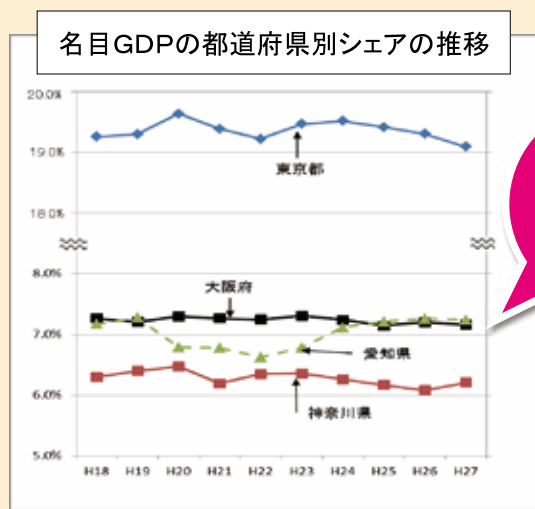
A. 外国語版の住まいのしおりの配布や、タブレット端末を使ってのコミュニケーションをはかっているが、災害時における行動の留意点などを十分に周知できるように課題を整理し協議してまいります。



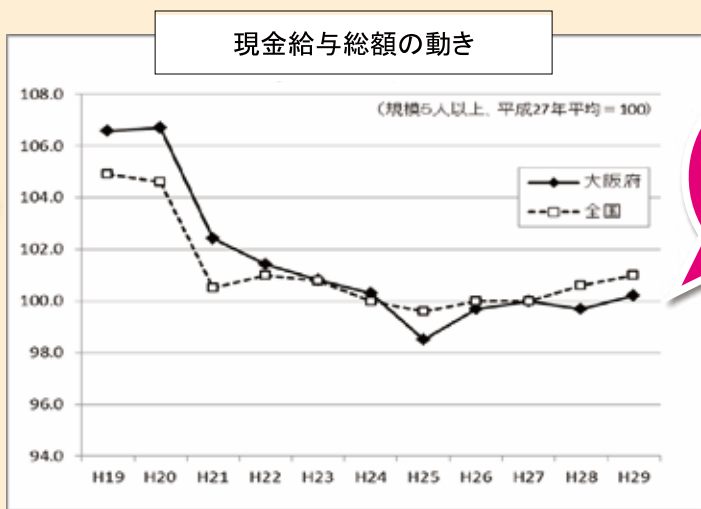
その改革は大阪を豊かにしたのか?!



平成30年9月議会自由民主党大阪府議団の代表質問によって、大阪府が身を切る改革と称して行なって来た改革により他府県に比べ経済成長が滞っていることがわかりました。また、大阪府の維新知事誕生前までは名目GDPの都道府県別シェアは東京都に次ぐ全国第2位であり、現金給与総額は全国平均より大きく上回っていましたが、身を切る改革と称した政策が始まり名目GDPの都道府県別シェアは愛知県に抜かれて第3位へと転落し、現金給与総額は全国平均以下に下がっております。



大阪府は愛知県に抜かれて3位に



大阪府は全国平均を下回った



資料：内閣府「平成27年度県民経済計算について」

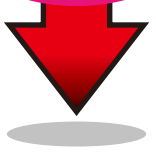
資料：大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」平成29年

商工予算額推移 (単位:百万円)

	大阪府			愛知県		
	平成19年度予算	平成29年度予算	増減率	平成19年度決算	平成29年度決算	増減率
中小企業振興	519,221	329,509	37%減 ↓	184,880	185,896	1%増 ↑
(除く制度融資預託金)	94,623	7,809	92%減 ↓			
商業振興	1,792	702	61%減 ↓	1,780	1,609	10%減 →
企業誘致・新産業育成	30,308	2,100	93%減 ↓	1,138	10,811	849%増 ↑
その他	7,514	4,976	34%減 ↓			
合計	558,837	337,289	40%減 ↓	187,799	198,318	6%増 ↑
(除く制度融資預託金)	134,239	15,589	88%減 ↓			

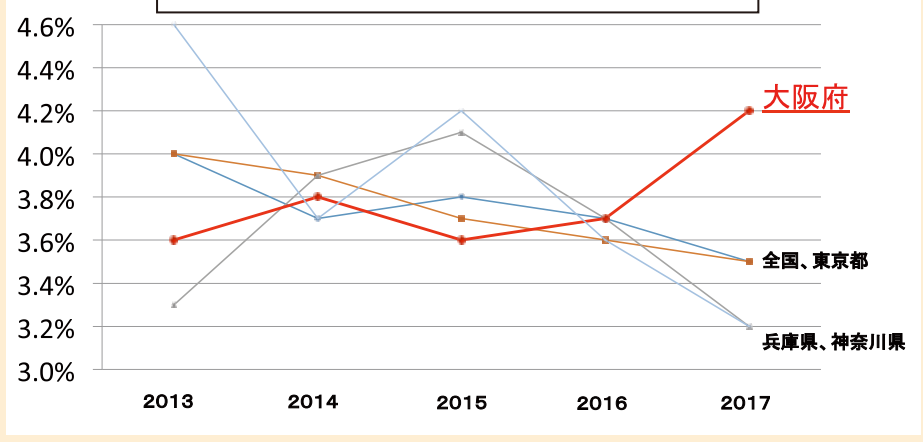
愛知県に比べここ10年で大阪府の商工予算は激減しており、その結果名目GDPは伸びず、そのしわ寄せが大阪府民の所得の激減に繋がっているのは見て明らかである。

所得の激減



この10年間で激減!!

主な都府県における廃業率の推移 (%)



出典：雇用保険事業年報(厚労省)

中小企業数上位の都道府県と減少率

都道府県	企業数	減少率
東京	447,659	8.22%
大阪	292,993	10.34%
愛知	220,767	8.32%
神奈川	199,958	7.64%
埼玉	172,182	7.84%
兵庫	154,646	8.51%
全国	3,809,228	9.33%

出典：2017年版「中小企業白書」



維新政治がこれまで行なってきた、行き過ぎた緊縮財政で大阪府の経済が悪くなっていることがデータでも判明しました。大阪府もせめて他府県並みの商工予算をつけて中小零細企業に対する支援を行なっていき、大阪の経済を復活させるべきです。

事務所

〒567-0883
大阪府茨木市大手町9-29 1F
TEL:072-657-8914 FAX:072-657-8915

自民党大阪府議団

大阪府議会議員

そうま

うらべ走馬

